第4次ふくいの食育・地産地消推進計画の概要

(1) 計画について

食育・地産地消に関する課題に対応し、SDGsの考え方も踏まえふくいの「食」を次世代につないでいくため、計画を策定。

(2)計画期間

令和6年度から令和10年度まで(5年間)

(3)基本理念

環境と調和したふくいの食を通じて健康で豊かな生活をつない でいく

「食育の祖」石塚左玄の食の訓え

- 1 家庭での食育の大切さ
- 2 命は食にあるという食養道の 考え
- 3 人間は穀食動物である
- 4 食物は丸ごとで食べる
- 5 地産地消で地域の新鮮で旬のものを食する
- 6 バランスのよい食事



福井県出身の石塚左玄は、 日本で初めて「食育」とい う言葉を使い食育・食養論 を唱えた。

(4)基本方針

【食育】持続可能な食を支える食育の推進

<主な施策>

- ① 家庭内や地域のつながりを活かした食育の推進
- ② 生産者・生産現場とのつながりを深める食育の推進

New! ③ 環境との調和への関心を高める食育の推進

【地産地消】地場産農林水産物・食品の魅力再発見に よる地産地消の推進

<主な施策>

- ① 直売所や小売店等を通じた地産地消の拡大
- ② 地場産農林水産物・食品の消費促進による地産地消の拡大

New!③ 観光客・関係人口をターゲットとした地産地消の拡大

(5)数值目標

| [1 | 食育 】 | 現状 | 目標 |
|----|------------------------------|-------|--------|
| 1 | 朝食を毎日食べる若い世代 | 45% | 60% |
| 2 | ふくいの食育推進企業 | 73事業所 | 100事業所 |
| 3 | 農林漁業体験をしたことのある人 | 63% | 70% |
| 4 | 環境に配慮した農林水産物・食品 を選んで購入する人 | 68% | 75% |
| | デジタル技術を活用した食育を利用したことがある人 | 58% | 80% |
| | | | |

| 【地産地消】 | 現状 | 目標 |
|--------------------------------------|-------|-------|
| ① 地場産農林水産物・食品を優先的 に購入する人 | 32% | 65% |
| ② 学校給食における地場産農林水産 物・食品の使用 (金額ベース) | 35% | 55% |
| ③ 直売所の販売額 | 46億円 | 60億円 |
| ④ ふくいの食・農分野における交流 人口 | 169万人 | 250万人 |

第4次ふくいの食育・地産地消推進計画の概要

〇第3次計画の目標達成状況

| 指標 | H29 R5 | | 目標 |
|-----------------------------|-----------|----------|-------|
| 朝食を毎日誰かと食べる人 | 68% | 55% | 75% |
| 主食・主菜・副菜を揃えた食 事をほぼ毎日食べる人 | 43% | 62%(R4) | 70% |
| ふくいの食育推進企業 | _ | 73事業所 | 50事業所 |
| 直売所販売額 | 35億円 | 46億円(R4) | 45億円 |
| 給食における地場産使用率 | 45% | 32% (R5) | 55% |
| 地場産を優先的に購入する人 | 53% (H28) | 32% | 65% |

【取組例】

「ふくいの食育推進企業」の拡大

<登録企業の取組例>

県産食材を中心とした社食や 弁当を提供。野菜たっぷりのメ ニューにより従業員の健康づく りにつなげる。

【取組例】

地場産食材の積極的な選択・購入を促すため、地場産食材購入者に特産品が当たるキャンペーンを開催R元~R5:延べ17,842人応募



〇県民アンケート調査

調査日:令和5年12月11日~29日、調査対象:無作為抽出による県民2,000人(回答1,085人)および事業者700所(回答306所)

※ 全国は令和4年度調査

| 食育 | 割合 |
|------------------------------|------------------------------|
| 食育に関心のある人 | 79% (全国 79%) |
| 朝食を毎日食べる人 朝食を毎日食べる人(20代) | 84% (全国 79%) 45% (全国 52%) |
| 郷土料理を月に1回以上食べる人 | 59% (全国 63%) |
| 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ人 | 68% (全国 62%) |
| 農林漁業体験をしたことのある人 | 63% (全国 62%) |
| デジタル技術を活用した食育を利用したこ とがある人 | 58% (全国 22%) |

| 地產地消 | | 割合 |
|-----------------------|-------------------|---------------|
| 地場産を優先的に購入する人 | | 32% (H28 53%) |
| 地場産と県外産との違い(複数回答) | | |
| | 地場産は県外産より種類が少ない | 43% (H29 38%) |
| | 地場産は県外産より品質・鮮度が良い | 32% (H29 33%) |
| | 地場産は県外産より高い | 26% (H29 20%) |
| 地場産の取扱いが5年前より増えた事業者 | | 42% (H29 39%) |
| 地場産の取扱いを今後増やしたい事業者 | | 65% (H29 52%) |
| 地場産の取扱いを消費者に周知している事業者 | | 80% (H29 75%) |

第4次ふくいの食育・地産地消推進計画の概要

〇第4次計画における施策

【食育】

持続可能な食を支える食育の推進

- ① 家庭内や地域のつながりを活かした食育の推進
 - ・子育て世代への一汁三菜、未就学児への歯の健康、高齢者 への栄養不足などライフステージに応じた知識の普及
 - ・地域団体と連携した和食や郷土料理の次世代への継承

② 生産者・生産現場とのつながりを深める食育の推進

New!・生産者の取組みをイベントやウェブを通じて消費者へ紹介

・気軽に参加できる農林漁業体験 の充実 など



農業体験の様子

③ 環境との調和への関心を高める 食育の推進

New!. 環境に配慮した農林水産物・食品の知識普及、 食品ロス削減などの考え方を紹介するイベン トや食育講座を開催

New! 有機・特別栽培米の給食への導入を支援など



福井県特別栽培農産物マーク

【地産地消】地場産農林水産物・食品の 魅力再発見による**地産地消の推進**

① 直売所や小売店等を通じた 地産地消の拡大

New! 直売所の充実のための直売所間の 相互輸送や集荷体制強化を支援

New!・エシカル消費推進に積極的に取り 組む小売店の活動を発信 など



直売所の地場産コーナー

- ② 地場産農林水産物・食品の消費促進による地産 地消の拡大
 - ・地場産購入促進キャンペーンの実施
 - ・農村の資源を活用した特産品の開発支援

New! 関係者が連携した給食の地場産率向上のためのモデル実証

New! レシピ紹介や商品開発支援による米粉の消費推進 など

③ 観光客・関係人口をターゲットとした地産地消の拡大

New! 新幹線駅前等において、グルメイベントを開催

New!. 地場産の特徴や魅力を訴求するストーリー動画やウェブサイトの活用による美食福井のPR +



ふくい食と農の 世覧会